

令和 7 年 8 月 定例教育委員会

日 時 令和 7 年 8 月 2 6 日（火） 1 4 時 3 0 分～

場 所 市役所 5 階 庁議室

出席者

（教育委員）

陣内教育長 松野教育長職務代理者 古賀委員 中村委員

（事務局）

井上教育総務部長 鳩山学校教育部長 木下学校教育部次長兼学校教育課長 稲葉学校教育部次長 藤川学校教育部次長兼学校保健課長 溝口総務課長 大宅教育施設課長 武尾文化財課長 徳永総務課長補佐兼庶務係長 太田新しい学校推進室副主幹 黒木総務課係長

欠席者 西沢委員

傍聴者 なし

内 容

(1) 令和 7 年 6 月分 議事録確認

(2) 議 題

① 令和 7 年度（令和 6 年度活動）佐世保市教育委員会における自己点検及び評価の件
（総務課）

(3) 協議事項

なし

(4) 報告事項

① 学校再編計画第 1 期対象地区の現状と今後の予定について（新しい学校推進室）

(5) その他

① 次回開催予定について

◆教育長報告

- 7 月 3 0 日 長崎県養護教諭研究協議大会
 イオン九州感謝状贈呈式
- 8 月 4 日 九州中学校体育大会バドミントン競技開会式
- 8 月 8 日 8 月教育委員会協議会
- 8 月 2 1 日 第 1 5 回九州地区市町村教育委員会研修大会
 2 2 日 " 視察研修

(1) 教育長報告・議事録確認

【陣内教育長】

8 月定例教育委員会を開催したいと思います。

7 月の定例教育委員会を開催して以降ですが、7 月 3 0 日には、県の養護教諭研究協議大会がアルカス S A S E B O で開催され、出席いたしました。

また同日、イオン九州から少年科学館へ寄贈をいただきまして、感謝状の贈呈式を執り行いました。

8 月 4 日は九州中学校体育大会バドミントン大競技が開催されました。

8 月 8 日は教育委員会協議会といたしまして、平成 1 6 年の小学校の事案に関わる関係者の方からのご講演を聞かせていただく機会をいただきました。

それから 8 月 2 1 日・2 2 日は、九州地区市町村教育委員会研修大会が大村市で盛大に開催され、松野職務代理が全体の会長ということで大変大きな役を担われました。素晴らしい会となり、参加の皆様からも大変好評でございました。

教育委員会としては充実した夏であったのではないかなと思っております。

以上でございます。

それでは議事録の確認を行いたいと思いますが、6 月分の議事録についてはよろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

ありがとうございます。

それでは議題に入ります。「令和 7 年度（令和 6 年度活動）佐世保市教育委員会における自己点検及び評価の件」について、お願いいたします。

（２）令和７年度（令和６年度活動）佐世保市教育委員会における自己点検及び評価の件

【溝口総務課長】

協議資料Ｐ１および別添資料により説明

【古賀委員】

７６ページの上から３行目ですが、夜間中学の開級について「設立後に安定した生徒数を確保するためにも」と書いてあります。夜間中学は安定した生徒数を確保しなければならないというふうになっているのでしょうか。

【木下学校教育課長】

生徒数が１名や２名など、極端に少なくなった場合に休級するかと言われれば決してそういうことではなく、１人のためにでも最善を尽くして教育を行うというのが学校の役目だと考えています。

逆に人数が増えた場合、現在は実際には１クラスで１つの授業を皆さんが受けているというスタイルで行っているのですが、そこを２クラスに分ける等、何らかの工夫をしていくということであって、ここからここまでの人数でないと開級できないということではないと捉えております。

【鳩山学校教育部長】

ここに書かれてある「安定した」というのは、広報を確かなものにして、学びたいという方がいれば漏れなくそれを受け入れるという趣旨だと思っております。

安定した人数を確保するために開設しているわけではなく、学びたいという方がいればすべて受け入れる方針でいますし、先ほど木下学校教育課長からありましたとおり、少ない人数であったとしても開級は続けていくという趣旨ではございます。

【陣内教育長】

「安定した生徒数の確保」という言葉が誤解を生みやすい言葉になっていますね。私立の学校であつたり、義務教育でない高等学校では、まず学校があつて、学級が編成され、例えば「この学校は３５人学級の何学級が１学年に編成されているので、定員が７０ですよ」という定義があつて、その中に安定的に子どもたちを配置していくというのがスタートです。学校・学級があつて編成されていきます。

義務教育に関しては、義務教育の必要な児童生徒がいて学級が編成されていますので、安定的な生徒数という考え方はございません。

おそらく指摘されているのは、夜間学級で学ぶ必要のある皆さんに届くように広報をし、人数を集めるためではなくて、そのような状況にいらっしゃる方が漏れることなく、こういった学級がありますということがしっかりと届くような状況を目的として、このような

言葉を使われているのではないかなと私は判断しております。

【松野教育長職務代理者】

関係機関や一般市民への説明というものを、もう少し丁寧にやっていった方がいいのではないかなと思います。

例えば退職校長会とか教育会とか、いろんな外部の教育に関わってきた機関もたくさんございますので、そういったところがまだ十分に把握できていないところがあるのではないのでしょうか。外部の関係機関や一般の市民の皆さんへ、分かりやすい説明をこれからも続けていくことで、いろんな思いを持った子どもたち、そして保護者の方に届くのではないかと、私は思っております。

【陣内教育長】

ここも含めて周知広報、積極的な市民への発信といったところの課題がいくつか出てきていますね。

ですから、ここについては例えば夜間学級に関してだけではなくて、全体的に教育委員会がどのようなことをしているのかということ、どう発信していくかというところは1つの大きな課題になっているかと思います。このあたりも今後のPDCAサイクルのアクションの方で考えていっていただければと思います。

他にありませんでしょうか。

【中村委員】

夜間中学はもちろんですが、その他にも、あすなろ教室等、関連した困りごととか悩みを持たれた保護者さんや児童生徒さんがどこに行けばいいのかというのが分かりやすく広報されているといいのかもしれないと思います。

これを1つのきっかけとして、そういうニーズに応じて、佐世保市ではこういうふうな受け入れ体制がありますというのが分かりやすく広報されていれば、せっかくのこの評価がまた生かされていくのかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

【陣内教育長】

他はよろしかったでしょうか。

評価にとどまらず、この評価の今後の活用の広報についても意見として出ておりますので、そこも含めて、外部評価と一緒にお伝えしていただきたいと思います。

そのあとでまた、今後のアクションを考えていければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

（３）学校再編計画第１期対象地区の現状と今後の予定について

【井上新しい学校推進室長】

協議資料Ｐ１～Ｐ３により説明

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

- - - 了 - - -